

平成 24 年度吸入毒性試験対象農薬について（案）

1. これまでの試験実施状況

吸入毒性試験については、既存のデータの活用が可能なジノテフラン及びエトフェンプロックス（いずれも殺虫剤）を除き、これまで無人ヘリコプター防除における使用実績（別紙）の多い農薬から順に実施しており、本年度までに吸入毒性試験を実施した又は実施中の農薬は次のとおり。

殺菌剤：フサライド（平成 22 年度）

トリシクラゾール（平成 23 年度）

フェリムゾン（平成 23 年度）

殺虫剤：クロチアニジン（平成 23 年度）

2. 平成 24 年度吸入毒性試験対象農薬

平成 24 年度においては、最大で 3 農薬について吸入毒性試験の実施が可能と見込まれている。吸入毒性試験未実施の農薬のうち、使用実績が多いのは、カスガマイシン、アゾキシストロビン及びバリダマイシン A（いずれも殺菌剤）、エチプロール（殺虫剤）の順となっている。

このうち、バリダマイシン A は、カスガマイシンと同じ抗生物質殺菌剤であること、エチプロールの ADI が 0.005 mg/kg 体重/日と他の農薬に比べて低い値になっていることから、カスガマイシン、アゾキシストロビン及びエチプロールを平成 24 年度の試験対象としたい。

無人ヘリ防除(水稻)における農薬の使用実績(平成21年度～平成23年度全国平均)

【殺菌剤】

順位	農薬成分名	系統名	使用実績 (1000ha)	ADI (mg/kg体重/日)	備考	
					亜急性吸入毒性試験 データの有無	モニタリング データの有無
1	フサライド	メラニン生合成阻害剤	270	0.04*	22年度試験実施済	23年度実施
2	トリシクラゾール	メラニン生合成阻害剤	147	0.03*	23年度試験実施	
3	フェリムゾン	その他の合成抗菌剤	128	0.019	23年度試験実施	
4	カスガマイシン	抗生物質殺菌剤	111		24年度試験実施予定	
5	アゾキシストロピン	メトキシアクリレート系阻害剤	97	0.18	24年度試験実施予定	
6	バリタマイシンA	抗生物質殺菌剤	82			
7	フルトラニル	酸アミド系殺菌剤	48	0.087		
8	ペンシクロン	尿素系殺菌剤	18	0.053		
9	ジクロシメット	メラニン生合成阻害剤	12	0.005		
10	ジクロメジン	その他の合成抗菌剤	9			
11	プロベナゾール	その他の合成抗菌剤	8	0.02*		
12	メプロニル	酸アミド系殺菌剤	6	0.05		
13	ピロキロン	メラニン生合成阻害剤	6	0.015*		
14	フェノキサニル	メラニン生合成阻害剤	5	0.007		
15	チオファネートメチル	ベンゾイミダゾール系殺菌剤	3	0.12*		
16	メトミノストロピン	メトキシアクリレート系阻害剤	1	0.016		
17	イソプロチオラン	ジチオラン系殺菌剤	0.37	0.1		
18	シメコナゾール	ステロール生合成阻害剤	0.13	0.0085		
19	シアゾファミド	イミダゾール系殺菌剤	0.11	0.17		

【殺虫剤】

順位	農薬成分名	系統名	使用実績 (1000ha)	ADI (mg/kg体重/日)	備考	
					亜急性吸入毒性試験 データの有無	モニタリング データの有無
1	ジノテフラン	ネオニコチノイド系殺虫剤	345	0.22	有	入手予定
2	エトフェンブロックス	ピレスロイド系殺虫剤	154	0.031	有(90日間)	有
3	エチプロール	フェニルピラゾール系殺虫剤	73	0.005	24年度試験実施予定	
4	クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	70	0.097	23年度試験実施	
5	シラフルオフェン	ピレスロイド系殺虫剤	49	0.11		
6	プロフェジン	昆虫成長制御剤	48	0.009		
7	テブフェノジド	昆虫成長制御剤	45	0.016		
8	MEP(フェニトロチオン)	有機リン系殺虫剤	11	0.005*	有	有
9	チアメトキサム	ネオニコチノイド系殺虫剤	4	0.018		
10	クロマフェノジド	昆虫成長制御剤	1	0.27		
11	BPMC(フェノプロカルブ)	カーバメート系殺虫剤	0.7	0.012*		
12	DEP(トリクロルホン)	有機リン系殺虫剤	0.6		有	

*出典:厚生科学審議会答申(平成15年水道水質基準制定の際に参照した暫定的なADI)